(三ノ二版)　(明治卅一年五月九日第三種郵便物認可)　昭和十四年二月二十日(月曜日)　臺灣日日新報　第一万三千九百八十三號　(一)

日本軍の長期駐屯を
海南島の良民は熱望
"速かに各縣を肅正されたい"と
前知事が皇軍に泣訴

【瓊山十八日發同盟】支那事變勃發當初まで海南島警備縣知事の要職に在り擧日本人として知られた某氏（姓に名を附す）は間もなく敵側の海南島を奪ひ去られた事を悲憤し、敵の暴虐から逃れ出で々としてゐるが十八日瓊山の我が○○部隊長を訪問その保護方を懇請するとともに次の如き重大聲言をなした

一、海南島の住民は日本軍が速かに各縣を占領して呉ひたいと希望してゐる、即ち現在各島には所謂保安隊、守備隊、警察吏、匪賊團の約二千名が居りこれ等が以前からも良民を苦しめてゐたが日本軍上陸に依つて各地に逃げ込み息々の態勢に在る

一、日本軍隊は永久に各縣に駐屯されたい、何故ならばこれ等の匪賊を剿滅して引揚げたあとではまた元を通りの無政府狀態になる、故に日本軍が駐屯し道路及び警備網を張り良民をして安心樂業させて欲しい

一、日本軍の協力に依つて各縣共に治安維持會を成立されたい、各島民は日本軍の威力は十分知つてゐる、治安維持會が出來ることに依つて良民は初めて不安から逃れ得る

一、日本軍の手で島民の生命財産を保護されたい、これまでの政府は島民の財産を搾取するばかりで殆んど島民の生命財産を保護したことがない

【定安十九日發同盟特派員】我軍定安縣城を完全に占領した、定安縣の住民は心から我軍の入城を歡迎するもの極めて少く戰鬪隊と軍人部隊は十九日縣城を踏んで瓊山を出發引つゞくやうな狀態の中を定安に向つて進擊、同午後七時半何等の抵抗も受けず

定安縣城占領
住民は心から歡迎

たのみか私有財産を無視して來た、海南島は農民が全數を占めてゐるが從來の國民は全く死を待つばかりであつた

中央聯盟會長有馬良榮大將の來訪を求め擧て辭任申出中の同大將に對し留任方を懇請するとともに東亞國民精神總動員運動の方針に關し首相の決意を表明し、時局に亘る懇談を行つた、席上有馬大將は『明治神宮奉齋の聖職に專念したい、自己の意見として此際中央聯盟會長を辭任したい旨を重ねて表明したが、平沼首相は國民精神總動員運動の重大使命に鑑み同會長の決定せざる以上總裁の急にある國民精神總動員運動も遺憾ながらねばならぬ事情を訴へてたつて大將の留任を希望した、有馬大將は遂に之を容認して辭表を提出したが四圍の情勢からして結局留任するものと見られるに至つたから官制上に理事長の人選決定を待つて東亞國民精神總動員運動は今月下旬を期し活潑に開催される筈

【東京廿日發同盟】第一回恩給

恩給債券公募

【瓊山十八日發同盟】我軍の指導の下に着々の準備を急ぎつゝあつた瓊山の首都瓊山市治安維持會は十八日午後二時半より市內瓊山縣政府公館に於て盛大な成立大會を擧行し新生瓊山の力強い第一步を開始した、この日の瓊山治安維持會成立に際つたやうな活氣を呈した市民は早くも歡喜分に醉ひ成立大會準備の爲め前には既に締切と市民は早くも歡喜分に醉ひ成立大會準備の爲め前には既に締切

大瓊山城甦へる

全市日章旗と五色旗の慶祝裡に
治安維持會目出度く結成

けた市民は會場から溢れて長蛇には けふの晴の光榮ある瓊一、王王敵の正副委員長以下五名の委員と來賓として我が海南島派遣部隊司令官民表と各團體派遣部隊長及び松平顧問等の數氏列席し、先づ正副委員長の就任宣言に次で陸海軍司令官の祝辭、これに對する委員會長の答辭があつて萬歲三唱盛會裡にこの記念すべき式典を閉ぢ直ちに祝宴に移つた、一方市民に對しては治安維持會より大會の施米があり祝賀の酒肴を明日に控へて瓊山市はお祝の擧行に喝か上にも酒肴附き隅遠つた

西國人戰派潰滅

追害を加へぬを條件にして
降伏休戰に意見一致

【パリ十八日發同盟】スペイン人民戰線外相デルヴアヨは過般來パリに乘込んで同地に陣中のアナーキスト大統領と協議を重ねたが從つてフランコ軍が人民戰線軍將兵に對し追害を加へぬことを條件としてフランコ軍に降伏する事を決定したと傳へられるが十八日午後パリの人民戰線團體有力者達との會合席上に於て次の如き談話を發表した、デルヴアヨ外相はフランコ軍に對し最後の降伏を勸めるために陣中のアナニア大統領をマドリッドに遣はすべく交渉を續けたが、大統領は人民戰線將兵の生命の安全を條件としない限り降伏を肯じないので遂に降伏休戰を斷念するに至つたと

有馬中央聯盟會長に
留任を懇請
きのふ平沼首相から

【東京十九日發同盟】平沼首相は一十九日午前官邸に國民精神總動員

印度とソ聯を結ぶ
新鐵道を建設
アフガニスタンで計畫

【ボンベイ十八日發同盟】英領印度及びソ聯兩國を連絡して英領印度及びソ聯結ぶ延長四百五十哩の鐵道建設を決定し目下測量を進めてゐることは言はれる、而して右計畫に關しソ兩國は何れもその獨占に努力し つゝあるがアフガニスタン政府は英ソ兩國にドイツを加へた合作會社を作り必要の際にはその株を買收し得る條件を附する意向であると傳へられてゐる

對佛武器輸出は妥當
フランスは購入の權利がある
大統領が記者團に語る

【ニューヨーク十七日發同盟】ルーズベルト大統領は十六日夜ワシントン駐在米國海軍武官會議に出席し實施中の米國海軍擴張計畫のためフロリダ州キーウエストに向つたが十七日車中において記者團と會見、佛印軍艦問題に關し左の如く語つた

對佛飛行機輸出問題は余も他の政府の高官と同樣その衝に當つたものであるがフランスは當然飛行機購入の權利があるのだから何等問題とはならない

グワム島强化
米海軍强化案の內容

【ラングーン十八日發同盟】現在ビルマ向け武器は少しづつ國境方面へ送られてゐるが十七日はじめて武器輸送用の特別列車が竝べられ憲兵に嚴重に警衛されながらラシオへ向つた、また支那の奥地の昆明業者から買入れた飛機第二號のトラック五十台も雲南を經由して二十七日ラシオへ向つた、更に英領の諸貨業者でアルメニア人パタネス取扱の二噸積トラック二千五百台支那向け武器を輸送して十七日昆明とラシオに向つた外、アイデア會社の武器は二月向け武器を輸送して

空中戰鬪に於て
敵でない
獨逸の敵は
問題の祕密會を暴露

【ワシントン十八日發同盟】アメリカ上院陸軍委員會は十八日午後に對佛軍用機輸出問題で問題となつたる一月二十七、八兩日に於ける同委員會祕密會の議事錄を發表した、同祕密會に於けるる證言は次の通り

佛印用機輸出問題を契機に米英佛間の關係が惡化するものと思惟されるが、元も一部當局專門家は

ソ聯が海軍使節を
近く米國に派遣
主力艦の注文が目的か

【ワシントン十八日發本社特電】ソヴエット政府は海軍人民委員部次長イサーコフを團長とするソヴエット海軍使節團を米國に派遣するに決定したが右使節團の使節は二年前建造した儘となつてゐるソヴエット主力艦二隻の建造交渉に付き兩國海軍當局との間に折衝を開始するにあるとも傳へられ之に關聯して再び中立法問題が米國政界の論議の的とならうとしてゐる點から米國海軍當局者は近ソヴエット

蘭貢から支那へ
武器を輸送

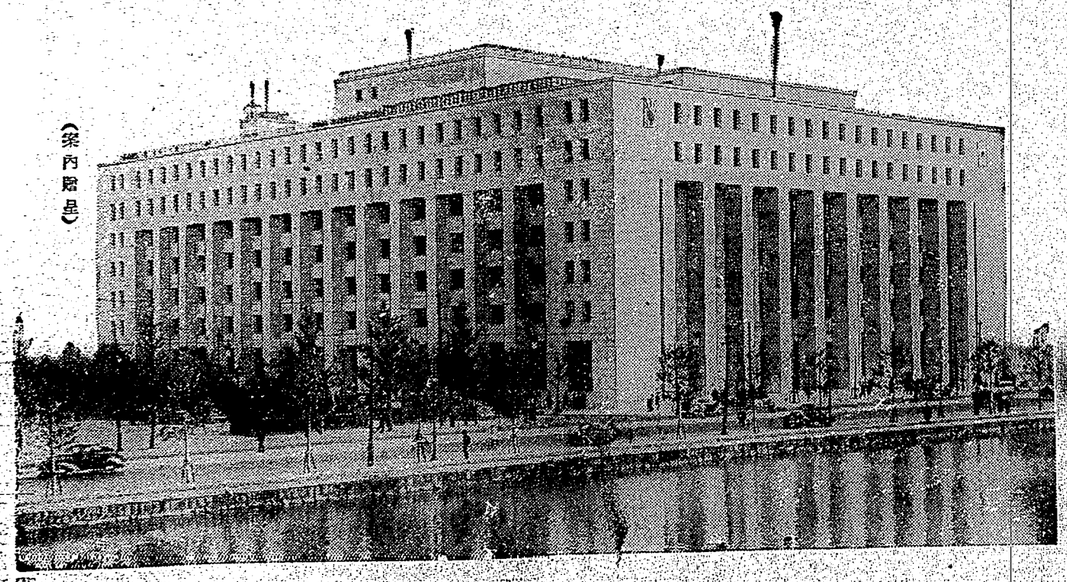
【パリ十八日發同盟】獨佛は目下蘭貢に關し軍事協定を考慮中と傳へられ英國が佛印問題を繞つてゐるので英佛の間に支那に對しては佛國政府も考慮中である

軍艦の派遣に
輿論は反對
佛國政府も考慮中

【パリ十八日發同盟】フランス政府は英國が佛印問題に關し軍事協定を考慮中と傳へられるが英國が佛印の一要衝を確保することに決定することしても獨と接壤せざる佛印に日本を刺戟するに至るかも知れないから佛政界消息通は政府當局に對して聲を大にして反對

ピオ十一世追悼會

ローマで故ピオ十一世の追悼ミサが擧行されたが、ムソリーニ首相の參列、小石川區關口教會に於て歷に執行された



(案內廣告)
確實・低廉・親切
第一生命保險相互會社
東京・日比谷
電話丸ノ內(二三)代表五一〇一番
番一一一五代表五一番

北支の青果市況

中央卸賣市場を目當に
内地問屋が續々進出す

需給調査

最近内地移入物の北支進出が俄に呼ばれてゐるが、北支の青果界はどうなつてゐるか、目下天津に滯在し同方面の需給調査を行つてゐる新興製糖株式會社員松正人氏の報告によれば、大要次の如くである

卸賣業者

△北支青果組合＝昭和十年頃組織の統制團體で、青果商果物商組合と天津青果輸入組合とが合併、資本金五十万圓の會社組織となし、その他北京、張家口、石家莊に支店を設け、主として内地產及滿鮮產の青果類を取扱ひ、日本人總數で青果所を含め約一八〇に持ち、昭和十二年度取扱高は百餘万圓である

△青果商果物株式會社＝天津出荷所は從來直接取引を北支青果組合内に置いたが本年から獨立店に移轉、内地移出の取扱を開始してゐる、滿鮮產の青果類は昭和十年度より向ふ五ケ年間北支青果組合と販賣せしむることと契約した、現在では北支青果組合は獨占的で販賣してゐる、北支青果組合は總取扱金の百分の二を組合費として會社へ支拂ひつつあり、將來も北支青果組合の權利を買收しない限り北支青果組合へ販賣を委託するものと思はれる、内地產青果物を積極的に何處する意思がないので、内地產青果類としては當分出來ぬと思はれる

△東洋青果株式會社＝大連に本社、北京、上海に出張所があり、資本金は二万圓である、東部内蒙は旭街の栃木農場内に寢室、事務所は納入等も相當あるらしいが、新京方面なほ淺く、奥地からの直接の荷は大して入荷せず、北支青果組合より相當金額仕入れつつある

△滿北公司＝日滿兩國商社に有利所を持ち、華北後進出した合名會社で、主として内地及び支那の漬物類の外國油味噌等の日用品を滿鮮へ納入するもので、目下漸次内地より大量入荷もしてゐるが、北支青果組合よりは相當仕入れつつある

△支店行＝新京で北支進行と共に青果類を取扱つてゐたが、中央卸賣市場設立後同地を引揚げ天津秋山街卸賣店方に專務所

△北京支店＝卸、張家口二卸、石家莊一卸、天津二卸、合計六卸賣人（靑果問屋）で、北京、天津は各支那人の取扱つてゐるが、北京は内地人の取扱が多く、天津は日本人の取扱が多い、北京の卸賣人は資本金二万圓、天津は一万圓の組織である

△卸賣人＝卸賣人は（イ）内地靑果を買入れ（ロ）北支靑果を買入れ（ハ）滿鮮產青果を買入れ（ニ）外國產青果を買入れ販賣するもので、北京靑果問屋は（イ）（ロ）（ハ）（ニ）を取扱ひ、天津靑果問屋は（イ）（ロ）（ハ）を取扱ひ、張家口靑果問屋は（イ）（ロ）を取扱ひつつある

取引機構の内幕

〔賣買方法〕（イ）内地靑果＝カンは京濱仲買人（靑級組）に引渡し、カンは京濱仲買人（靑級組）に引渡し、カンは京濱仲買人（靑級組）に引渡し、

台日漫画

野村幸一編

體力檢査

「君は體力檢査にむつかしい顏だね」
「でも僕やせてゐても心臟は强いと父さんと母さんが云つてゐます」

酒のみ亭主

「ウイッ? 今日も○○日間で禮儀下列だつたよ」
「嘘おつしやい そんなに禮儀下列があるもんですか」

受驗教員生

◆大明堂三大受驗雜誌二月號好評

受驗月刊誌	二月號	增大號
試驗學科獨習手引	師範學校	師範學校
實檢試驗問題答案講評	青年學校教員養成所	青年學校教員養成所
檢定入學就職記錄	師範學校入試準備仕上	師範學校入試準備解答
受驗生錢拾五錢	受驗雜誌錢拾五錢	受驗雜誌錢拾五錢

◆大明堂三大受驗雜誌二月號好評

教員受驗月刊號	師範青年養成所	小學教員合格實記	師範一部必勝對策	師範入試準備解答
文檢受驗月刊號	高等教員準備指針	秋季文檢試解答	春季文檢合格實記	高等教員準備指針
受驗生錢	四錢	錢拾	錢拾	四錢

◆全國書店發賣　三月新卒業生の入學受驗就職顧問雜誌讀むなら受驗雜誌　大明堂發行

生驗受員教

◆師範青年學校教員入試必勝號

受驗雜誌	二月號	特大號
教員受驗	師範學校	師範學校
學校就職	青年學校教員養成所	青年學校教員養成所
官公私立	師範學校入試準備仕上	師範學校入試準備解答
昭和14年	必勝法	必勝法
錢拾四錢	錢拾五錢	錢拾五錢

◆師範青年學校教員入試必勝號

生驗受檢文

◆近衛文檢入試解答本試問題速報號

受驗雜誌	二月號	特大號
文檢受驗	高等專門學校入試準備仕上	高等專門學校入試準備解答
秋季文檢	教員準備指南	教員準備指南
春季文檢合格實記	文檢合格準備對策	文檢合格準備對策
錢拾四錢	錢拾四錢	錢拾四錢

◆近衛文檢入試解答本試問題速報號

◆陸軍職業軍人志願者就職名鑑入試受驗就職知識號

受驗就職戰線突破對策

大明堂三大受驗雜誌二月號の陣容

ゼートルプ

強壯補血　造血アウトホルモン

精力増進

各帝大病院常備藥

ゼートルプ　壯強血補
ゼートルプンゼルア　息疾症肺
ゼートルプドーヨ　症膚肉瞼
ゼートルプナキ　壯弘胃鑑
ゼートルプルーコヤアグ　症痔肢腰
ゼートルプオキ　見強畫夾

（星透代表 ▲象の動活 ●子都）

社會式株　店商吉友淨鹽

誌雜ノ行ク行ニ面

特別讀物 昨日の話と今日の話

代現

全滅の幕 佐山三郎

日本よりの賓客

飛澤譯小說

日本の少年と八首相會見の記

三島章道

平沼首相は語る

日本議会と世界情勢

全体を見る

ミ穂積重遠
ミ河野密

興亞院の風景

大君の邊に 四字百單關

血潮の數學

牡丹化粧 支那のある家

特別讀物 昨日の話と今日の話

日本の人物評論

兩部隊長壯烈戰死記

日輪を孕む暗野

始めて上京した時の思ひ出

大好評連載三大篇

戀愛小說 四本の白薔薇

實話小說 鑛山師と美女

時代小說 欣燄

現代小說 陰影ある街

片肺に兇弾を留めて

來間恭

眞相ばなし

雲雀鳴く頃

名家隨筆 財界消息

映畫時評

文壇展望

社會時評

世界の動き

人相學講座

早春からの家庭園藝

刑事生活四十年の思ひ出

僕の人物評論

人間馬場恒吾
川口松太郎

大日本雄辯會講談社

定價八十錢　代數月二

南風の歌

（第十回）

加藤武雄作

富田千秋畫

怖ろしき秘密（六）

幸子はよろ〳〵とよろめき乍ら扉の部屋を出た。

扉のまま何処かへ、何人にも顔を見られない遠くの方へ、走り去つて了ひ度い氣持だつた。

扉で顔を拭へて、よろめきよろめき歩いて行く幸子は、突きのつた何人かの腕手で肩を抱き止められた。

「どうしたの？幸子」

優しい声は、伯父の龍太郎だつた。

「どうしたのだらう、お前泣いてゐるやないか」

「伯父様！」

幸子は、伯父の腕に顔を埋めた。

「——ことわつたのかうむ、伯母さんの話にことわつたのか」

「えゝ」

泣きじやくりと共にうなづいた。

「これでいい。それでいい。——可哀相なら、可哀でいいのだ。何も泣かんでもいい。伯母さんには私からもよく云つて置く」

「伯父様、私、もうここには居られません」

「何、そんなに思ひ詰めんでも——私にも考へがあるのだから——」

その時、むかうから此方へ歩いて来る女中の姿が眼に入ると、龍太郎は、幸子の肩にかけてゐた手を離して、姿勢をととのへた。

「まあ、姿着いておいで。——後で、私の部屋において。心配することはない、泣くことはないのだ」

ひそかに呟くと、そのまゝ向ふへ歩み去つた。

幸子は自分の部屋へはいると、机に突伏した。

やがて彼女は顔を上げた。

窓の硝子に映る顔をみつめながら、血の出るほど唇を噛みしめた。

机の抽斗の底の方から、一冊の雑誌を取り出した。

「阿母さん！」

と、その雑誌に呼びかけて見た。

その古びた雑誌の中の挿しえの眼が、その瞬間まばたきをしたやうに思はれた。

幸子はその雑誌を引張りだすと、身の力を抽めてそれを引裂きかけた。弱い音ではあつたが、びりツと音を立てた。その哀れな挿絵の眼の辺りもあるかのやうな音をたてて。

半分ばかり裂くと、幸子は手をとめた。そして、又、元の形に伸ばして見たが、唇は雑誌の胸のあたりまで喰ひ込んでゐた。幸子はそれを彼の中に入れた。

「お前の阿母さんといふ人はね、刑務所へ入れられた人なんだよ」

先刻の伯母の言葉が、また耳元でびん〳〵と響いて来る。

「お前は、その三歳の子！

自分は女囚の子であつたのか？

「家の娘としてなれこそ、あたり前の娘にも出来るのです。女囚の子として、監獄で生れたそうな者を、何人が救つて呉れますか——あんまり可哀そうなんで、決して此の事は云ふまいと思つたんだけど、あんまりお前が聞きわけがないから、つい、云つて了つたんです。——お前も、あの時親の子なのだから、早く身を慎めさせないと、どんな事になるかも知れないと思つて——それでこの結婚を勧めてゐるのだけど、どうしても可厭と云ふなら仕方が無い。まあ、何とでも勝手におし！」

それが伯母の口吻だつた。

名だけの技術

新明正道

受けやすい。政治的なスローガンなどには過ぎる名前だけにすぎないものが散見される。しかも、これと云つて新しい着想がなくても流行を見ることには、顕著の場合と同じである。利口な政治家になると名前の考案において幾分はだしの腕を有つてゐるやうに云へる。しかし、あまりかうした政治的技術に依つて了ふ危険性が生じて来るのである。

大体近代の政治が、国民的の活動を要求するものになるが、政治が我々の生活から遊離いたところに動いてゐるかのやうな印象を與へるのは、それがあまりに名前だけの政治に成つてゐるからでもある。今日では国民自身も名前に黙惑されて、政治を名だけの技術として受け取つてゐる場合があるのである

新薬を売り出す場合は、名前の選定にかゝるといふことだ。薬そのものゝ名だけでなく、名前を変へてから非常な効力を示したと伝へられる薬が、実際でもあつて、名前で客をひきつけようとする製薬業者の心のいたりから、世間のどんな医薬でも名前が悪いと見向きもしないやうでは、薬屋ばかり非難してゐても始まらない訳がある。薬に求めるのは、実効であつて名前ではない。それでゐて我々が実際には名前を買つて飲むことが多いのは事実である。

○

我々の服飾と言語関係のある点についてすでにふれたから我々の生活の中に入つてゐる名前の支配をこゝに述べる必要はないであらう。

名前の支配は、我々の生活のそとにあるところから、特に名前の支配を受けやすい。政治的なスローガンなどには過ぎる名前だけにすぎないものが散見される。しかも、これと云つて新しい着想がなくても流行を見ることには、顕著の場合と同じである。利口な政治家になると名前の考案において幾分はだしの腕を有つてゐるやうに云へる。しかし、あまりかうした政治的技術に依つて了ふ危険性が生じて来るのである。

○

大体近代の政治が、国民的の活動を要求するものになるが、政治が我々の生活から遊離いたところに動いてゐるかのやうな印象を與へるのは、それがあまりに名前だけの政治に成つてゐるからでもある。今日では国民自身も名前に黙惑されて、政治を名だけの技術として受け取つてゐる場合があるのである

大きな考違ひ

安藤公乙

▽去る二十日夕刊メガホンに「市役所の衛兵は、月給は誰から何つてゐるのですか、それを考へたら、市民につけんどんにしないで下さいと言ふ記事があつた。恐らく、其の意味は「俺達の税金で俸給を支拂つてゐるのだと威張して好いと思ふ。殆ど此の投書をした区民のみならず、殆ど言ふ者が普通のやうに思ふ。官公吏の俸給は税金から支拂はれる、その税金は人民（こゝを強ふのだから、官公吏をマツと人民（こゝに親切であれと言ふのだらう。私は、此の頃なり、殆ど言ふ者に不満を感じる。成程、形式はさうである。際し、日本に於て「税金は、臣民が上個一人に差上げるもの」である為だ。而して、俸給は上個一人が其役を為す者に下される「もの」である為だ。形式は諸外國のそれと同じであらうが、實質には大いに異るものが有る官公吏は其役目を問はず、上個一人から其の役目を知せつかつてゐるものだ。此の考の下に、官公吏が其職務に忠實であり、其職する人民に親切でなければならぬ筈だ。一つの印を押すにも一つの點を言ふにも、自分の役目の與する所に思ひ及ぶならば思慮であり親切であるべき筈だ。

▽私は又思ふ、「國家と言ふ觀が Nation の譯である為に安當でないと。諸外國の國家と日本の國家とは其形式に於いても實質に於いても大きな差が有る事は勿論である。それ故極端に滿間して個質上國家をの Staat と Nation と同一觀として使用途にそれを意思の上に反映してゐるが、これは大きな誤謬であり、この觀念が前記のやうな誤れる觀念を生ずるものと思ふ。

▽人民といふ呼び方についても、私はあまり之に感激を持つてゐるものでない。私は此の考を十數年前から固持してをり機會ある毎に吐いて来たが其度に「個人と言ふ觀念が稀薄だ」と言ふ批評を受けた。今日の時代ならば、私の言はんとする所に共鳴して下さる方も相當あると思ふ如何。

名だけの技術

新明正道

受けやすい。政治的なスローガンなどには過ぎる名前だけにすぎないものが散見される。しかも、これと云つて新しい着想がなくても流行を見ることには、顕著の場合と同じである。利口な政治家になると名前の考案において幾分はだしの腕を有つてゐるやうに云へる。しかし、あまりかうした政治的技術に依つて了ふ危険性が生じて来るのである。

○

大体近代の政治が、国民的の活動を要求するものになるが、政治が我々の生活から遊離いたところに動いてゐるかのやうな印象を與へるのは、それがあまりに名前だけの政治に成つてゐるからでもある。今日では国民自身も名前に黙惑されて、政治を名だけの技術として受け取つてゐる場合があるのである

大きな考違ひ

安藤公乙

▽去る二十日夕刊メガホンに「市役所の衛兵は、月給は誰から何つてゐるのですか、それを考へたら、市民につけんどんにしないで下さいと言ふ記事があつた。恐らく、其の意味は「俺達の税金で俸給を支拂つてゐるのだと威張して好いと思ふ。殆ど此の投書をした区民のみならず、殆ど言ふ者が普通のやうに思ふ。官公吏の俸給は税金から支拂はれる、その税金は人民（こゝを強ふのだから、官公吏をマツと人民（こゝに親切であれと言ふのだらう。私は、此の頃なり、殆ど言ふ者に不満を感じる。成程、形式はさうである。際し、日本に於て「税金は、臣民が上個一人に差上げるもの」である為だ。而して、俸給は上個一人が其役を為す者に下される「もの」である為だ。形式は諸外國のそれと同じであらうが、實質には大いに異るものが有る官公吏は其役目を問はず、上個一人から其の役目を知せつかつてゐるものだ。此の考の下に、官公吏が其職務に忠實であり、其職する人民に親切でなければならぬ筈だ。一つの印を押すにも一つの點を言ふにも、自分の役目の與する所に思ひ及ぶならば思慮であり親切であるべき筈だ。

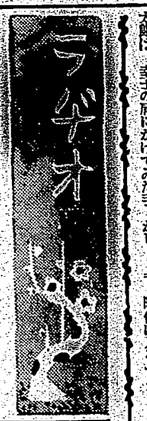
▽私は又思ふ、「國家と言ふ觀が Nation の譯である為に安當でないと。諸外國の國家と日本の國家とは其形式に於いても實質に於いても大きな差が有る事は勿論である。それ故極端に滿間して個質上國家をの Staat と Nation と同一觀として使用途にそれを意思の上に反映してゐるが、これは大きな誤謬であり、この觀念が前記のやうな誤れる觀念を生ずるものと思ふ。

▽人民といふ呼び方についても、私はあまり之に感激を持つてゐるものでない。私は此の考を十數年前から固持してをり機會ある毎に吐いて来たが其度に「個人と言ふ觀念が稀薄だ」と言ふ批評を受けた。今日の時代ならば、私の言はんとする所に共鳴して下さる方も相當あると思ふ如何。

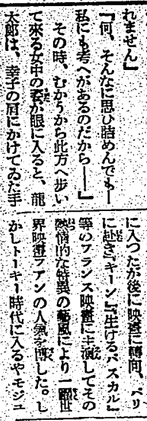
海外小話

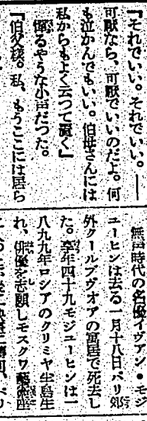
モジューヒン死す

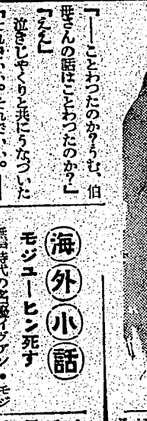
無声時代の名優イヴァン・モジューヒンは去る一月十八日パリ郊外ヴールヴォアの別荘で死去した。享年四十九モジューヒンは一八九九年ロシアのクリミヤ半島生れ、帝劇を振出しにモスクワ藝術座に入つたが後に映畫に轉向、パリに赴きキーン主演の「スカル」等のフランス映畫に主演してその獨特的な性格の藝風により一躍世界映畫ファンの人氣を博した。しかしトーキー時代に入るやモジューヒンはロシア語が喋れないので映畫界から殆ど姿を消してゐた。



南第二高等女學校（現在の第二高女）卒業生の一部（左端の女學生が幸子）







伸びゆく大高雄
鳳山を住宅地に
着々都市計畫を實施

【高雄電話】鳳山街都市計畫は高雄市が港湾、工業都市としての躍進を見、隣接都市として人口を包容する目的を以て、將來住宅地帶の發展性なきを見越して衛生的既成市街地帶の延長を前提として計畫され昨年十一月二十六日を以て決定したものであるが、都市計畫實施の一番目に鳳山街鳳山、竹子腳、道仁厝、五塊厝、赤山、牛埔仔、頂埔仔、大寮、大坪頂、後庄仔等十一庄の全部、第二期の一部實施地區として編入實施する豫定で、人口は現在の九倍に當る約五萬を目標として居り、都市計畫實施區域内の人口は現在の約二倍に當る二萬二千人

支那の騙子（一）

◇活佛◇　田中貢太郎

昔北に金という男があった、子供の時頭へお腐が出て、それがために一本の毛もないつるつる坊主であったが、才物で商売もうまかった、それで十八の時学校へ入って優等で卒業したが、惜いかな貧乏にたけてゐて資本が出来なかった。

両親は金が優等で学校を卒業したので、安心して病歿したが、そのうちに二人は病気で前後して死ぬなった、両親が死ぬなって逗留する者が無くなると、金は浮浪人の同様へ入って、したい三昧の事をしたので、忽ち財産を無くしてしまった、財産が無くなると今度は親族や朋友などを視頭、欺りだして気もちよさうに酔つてゐた、金はそれを見るなり、

「これだ、これだ」

といって、その法衣や即席を借て逃げたが、その中に医師が入つてゐた、医師とは数を知り落して僧侶になった時の番頭で、それには智慧といふ法號を書いてあつた、金はそれを見ると笑つた。

「それでは、今日からいよいよ智慧和尚か」

金は寺から寺をわたり歩いて広東へ往つた。

△

広東の何処であつたか土地の名は判らないがそこに来客を数名待つてゐる有名な者があつた、とこうでその寺は火災に罹つて、本堂はじめ建物が大半焼けたので、住職は金を集めて再興しようとしたが、喜捨する者がなくて困つてゐた、金はそれを聞くと、

「御住職くよくよするな、のるかそるか一旗揚げてやれ」

といって、早速住職を訪ねて往つて

「私をどうかこの寺へ置いてください」

といった、住職は、

「お即さんは何が出来る」

といった、金は、

「私は字も知らなければ、経も誦めませんが、賭博や用つかひなら出来ます」

といった、住職は寺を一人置いてもいいと思つてゐたので、早速金を置くことにした。

凹凸の感覚

栗原康史

1

客房の三階には医、歯科が頃めこんであつた。

雨を落さない雲足は硝子窓を閉して低く迫つてゐる。

凹凸した淡い硝子は雲をゆがめてゐる。

フォークの音は淀つていて室内である。

雨を落さうとしない雲は家々を低くした。

ただ、窓とほるやうに青いソーダ水は、音をたてて、きりに泡立つてゐた。

2

かたくなな下駄は、私の足からとび出さうなほど踵ついて

安期生

列仙傳（10）

安期生

西川滿

安期生は瑯琊阜郷の人である。海辺で藥を賣つてゐたが、時の人は皆千歳公と呼んでゐた。數の管量部は生を召して、共に語ること三夜、金數万を賜つた。しかし生は阜郷を出る時、それらを官置き去りにし、また書と赤玉の履とをとゞめ「これから千年後に我が墓前山下に尋ね上」と言つた。そこで部は使者数名をして海上を追はしめたが、未だ蓬萊山に至らぬ中に、風波に遮つて至ることが出来なかつた。そやむなく履を阜郷と海辺にたてて生をまつつた。（終）

鼻と學生

鼻は完全ですか？

頭重・頭痛・頭が疲れてボンヤリ
記憶力・判断力・思考力の鈍い方

◇鼻が塞つて苦しくありませんか？
◇鼻汁が多量にウルサク出ませんか？
◇鼻が乾き、炎れて居ませんか？
◇青黄色の臭い鼻汁が出ませんか？
◇物の匂が完全に判りますか？

鼻病に ミナト式

ミナト式は鼻腔疾患、肥厚性鼻炎、萎縮カタル、鼻茸、鼻茸症、副鼻腔等に奏効す。鼻のつまる人、物の匂ひの判らぬ人、鼻汁うるさく出る人、鼻が炎れ乾く人、悪臭の鼻汁出る人、記憶力の悪い人、不眠症の人に今ぐミナト式療法でお治し下さい。

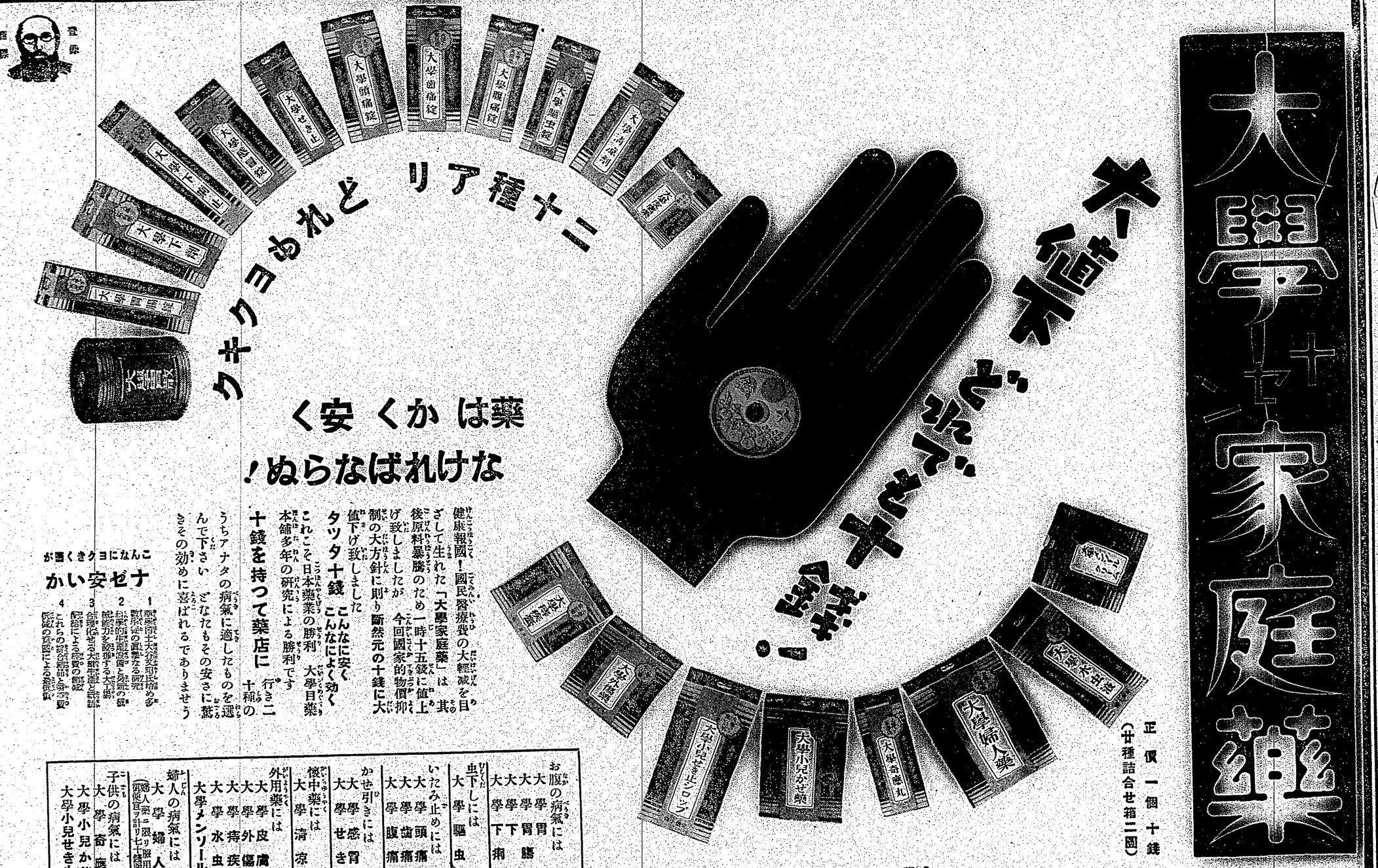
効能

一、七日分（鼻腔用要六十日分、要買付、一箱五十銭
一、鼻症用要廿日分、要買付、一箱一円五十銭

（郵便料別）

発売元　東京醫薬研究所
ミナト製薬
東京醫薬研究所
電話日本橋（24）二七〇八番
振替東京二七〇八番

大學家庭藥


大學家庭藥
大學胃腸藥
大學婦人藥
大學小兒かぜ藥
大學奇應丸
大學頭痛錠
大學齒痛錠
大學下痢止
大學腹痛錠
大學かぜ藥
大學ビタミンコンク
大學ヒロポン
大學ヒロポン注射液
大學ヒロポン注射液
大學ヒロポン注射液

(第三種郵便物認可)　昭和十四年二月二十日(月曜日)　臺灣日日新報　第一万三千九百八十三號　(七)

臨時政府の警防隊
初陣に見事な大手柄
冀東地區八路軍根據地を覆滅

【北平十八日發同盟】新來の中國軍を背景として起つた僞冀東防共自治政府保安隊の拠點を潮力で驅逐して新中國の前途に力強い光を投げかけた、王蔭泰司令の下に編成された保安隊は冀東地區の治安確保に任ずるため數千の人員を擁して堂々五個團の兵力を以て出發したが、その第一回の戰果として十八日朝遵化縣の東八里橋に據點を構える八路軍根據地を襲撃、これを覆滅した、この戰果は保安隊の初陣を飾るものとして關係當局を喜ばせている

【北平十八日發同盟】保安隊は十四日遵化縣の東八里橋に八路軍の一部が據點を構えて附近の治安を攪亂しているとの情報に接し、直ちに一個團を以て同地に急行、これを包圍攻撃したが、八路軍は保安隊の來襲を豫知してか既に遁走した後であつたので、保安隊は更に東八里橋の東北方約十五支里の地點に進出したところ、八路軍は約二百名の兵力を以て保安隊の進路を遮斷しようとしたので、保安隊は直ちに之を攻撃、激戰數時間の後遂に八路軍を潰滅せしめ、敵の遺棄した小銃二十數挺、彈藥數千發を鹵獲した、保安隊の損害は輕微であつた

【北平十八日發同盟】保安隊は十四日遵化縣の東八里橋に據點を構える八路軍の一部を覆滅した後、更に遵化縣城の東北方約十五支里の地點に進出したところ、八路軍は約二百名の兵力を以て保安隊の進路を遮斷しようとしたので、保安隊は直ちに之を攻撃、激戰數時間の後遂に八路軍を潰滅せしめ、敵の遺棄した小銃二十數挺、彈藥數千發を鹵獲した、保安隊の損害は輕微であつた

更生第一年を迎へ
海南島のお正月
歡びの爆竹に明けた海口の街

【海口十日發同盟】海口の街は僅かの雪で夜が明けた、南國のお正月だ、海南島の人々にとつては更生の第一年である朝ばらから街中僅かの雪で晴れ渡るやうだ、だが街には昨日迄の殺伐らしい緊張も憤だしさもない、商店は全部閉つて昨日までにこつた返してゐた市場もうそ寒い風が吹くばかり、今日は總動員の呼びかけられて賑まり返つてゐる、朝の街は爆竹の音でむせるやうだ、支那人は

どの家　でも神棚とも佛壇ともつかぬものを有合ふ限たくさん持つてお正月には八百万の神様に夫々平等に賴一杯の御馳走を供へ國運の隆昌をお祈りするのである、それから朝のお雜煮の代りに豚肉のお汁粉料理と支那酒で元旦を祝ふのだ、支那酒に酔つたのだらうほろよい機嫌で歩いてゐる支那人も見受ける、お祝ひ近くにもなると何と云つても賑やかなただぶら〳〵散歩する人々が街に一杯だ、いつもは男も女も陸で歩くのが多いのだが今日ばかりは去年の正月からしまひ込んで置いた

置いた　のだらう支那靴をはいてゐる、こののんびりした街の中に何處からか驚ろしい支那獨特の鳴物入りで高足踊りや獅子舞ひの一隊が繰込んで來て又何處かへ通り過ぎると元の靜けさに返つた、道路に跼いて晴々してゐる、日本なら此の春日和のお正月とも云ふべきところだが海南島のお正月はさらさらとして續け付くやうな太陽だ

軍艦旗と日章旗
飛ぶやうな賣れ行き

【〇〇十八日發同盟特派員】南海の漁村〇〇港市は早くも旭日軍艦旗の下に立つた、街の軒下では がちやくマシンの音も忙しく軍艦旗の製作をしてゐる、この軍艦旗が街の住民は勿論港に碇がる我が艦艇に飛ぶやうに賣れるのだ、中には八本やだ本の線のインチキな軍艦旗もあるがこんな事をしてでも手を抜かないと間に合はないのだ ちつぽけな漁民商人の女將さんも物を

賣りな　がら日の丸の旗を振りてゐる例で小さな子供が見馴れない旗だなあいふやうに端の方を引つ張つてゐるのも頗かな風景である、小型の船の艫の中が大きな水桶になつてゐて之に汲み込む時に原則的にはあるが一隻殘してあるので

生水を　飲まない風習の支那人もこの水だけは平氣で呑んでゐるやうだ、支那人は

どの家　でも神棚とも佛壇ともつかぬものを有合ふ限たくさん持つてお正月には八百万の神様に夫々平等に賴一杯の御馳走を供へ國運の隆昌をお祈りするのである、それから朝のお雜煮の代りに豚肉のお汁粉料理と支那酒で元旦を祝ふのだ、支那酒に酔つたのだらうほろよい機嫌で歩いてゐる支那人も見受ける、お祝ひ近くにもなると何と云つても賑やかなただぶら〳〵散歩する人々が街に一杯だ、いつもは男も女も陸で歩くのが多いのだが今日ばかりは去年の正月からしまひ込んで置いた

新嘉坡の
邦人壓迫事件は
いづれも落着
我は儼然たる態度に出でん

【シンガポール十八日發同盟】シンガポールの警察の邦人家宅捜査事件に關しては過般駐星重光大使を通じ英國政府に嚴重抗議を提したがその後の調査の結果何等不當の點なくシンガポール警察當局に於いて適當なる措置を講じたものと認められなり同大使館に對し英國側が如何なる回答をなすかにあるが開戰前最近の旅行者のみならず當地の一市民として平和に事業を營まれ邦人に對し不當な壓迫を加へることとなるとの眞意から本省の御意向でもあるから今後の成行は注目に値する

名譽の戰死者
野中水兵の告別式
十八日現地で執行

太一等水兵（設營隊神崎部の現地港市外破港にて近日長高指揮官代理として同部隊長より左の戰告別式は十八日午後二時から〇〇

臺灣の
身出
林醫師が發見

悪性ジフテリア治療に
ビタミンCと副腎ホルモン

【東京十九日發本社特電】強烈外科は勿論の事、特に戰傷外科には缺くべからざる治療法の一つとして、ビタミンCと副腎ホルモンとの併用療法が注目されてゐる

臺北の
天然痘
防遏に成功し漸く一と安心

【基隆電話】基隆郡三坑小學校では十八日午後一時より同校において、兒玉衛生課長以下官民多數列席のもと教育勅語奉安殿の落成、拔劍、拔銃の創定式を擧行し、引き續き同校において被檢式を催した

基隆署の
一齊捜査
十八日夜百八名を捕ふ

【基隆電話】台北州下一帶に行はれた十八日夜の捜査に引かかつた基隆署の獲物は左の通りである

△賭博十六件六十一人△行商營業規則違反十件十人△過怠例十九件十九人△罰金未納七件七人△逮捕狀四件四人△銃砲彈藥中二件二人△阿片例一件一人△無戸籍二件二人△計六十二件百八人

臺北の
天然痘
防遏に成功し漸く一と安心

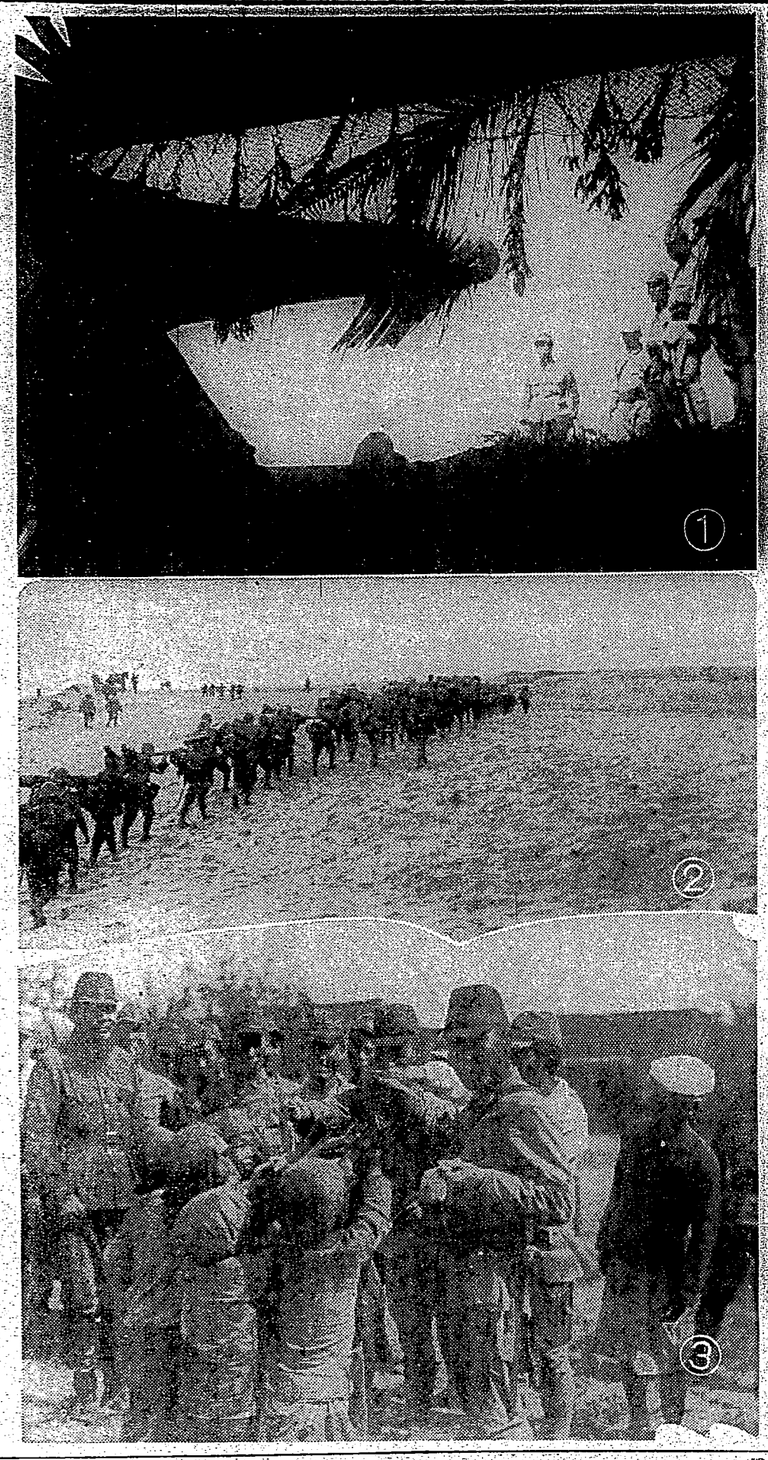
【基隆電話】州下一帶に行はれた十八日夜の捜査に引かかつた基隆署の獲物は左の通りである

△賭博十六件六十一人△行商營業規則違反十件十人△過怠例十九件十九人△罰金未納七件七人△逮捕狀四件四人△銃砲彈藥中二件二人△阿片例一件一人△無戸籍二件二人△計六十二件百八人

水上署では三名

【基隆電話】第三岸壁の本船進出用フリッヂ二個の內一個は被檢を起しタンタン一つで乘降客に不便

海南島より
(1)カムフラージュされた秀英砲臺　(2)熱砂上を進む皇軍　(3)島の子供等に笑子を與へる優しい日本の兵隊さん(陸軍省許可濟)



舊正〝廢止〟ごころか
島都は物凄い人出!
皇民化の見地から一考を要す

眞茹の無電臺
華中電氣の手で漸く復興

ギブス繃帶の人絹化
一醫學士により完成

父の遺志を繼ぎ
蕃童教育に盡す若人
奇しき運命の武井巡査

民衆教化を目差し
中支で宗教大同聯盟
總裁に近衛文麿公を推戴

【上海十八日發同盟】曩に現地で進められてゐた日本宗教を派大同團結の計畫は遂に大團化し近衛文麿公を總裁に、大谷瑩潤氏を副總

桑港萬國博の開場
日本館が人氣を攫ふ

【サンフランシスコ十八日發同盟】桑港萬國博覽會は十八日午前八時華々しく開場され、正午から盛大な開會式が行はれた、これより續々日本館は他の英國館に先だけ午前九時佐藤總領事以下日本人多數出席し、開館式を擧行、續いて午前九時二十分から一般に公開されたが早くも押すな押すなの盛況で殊に老齢者等の人形作りの實演は婦人達で黒山の人集りであつた

【基隆電話】香港陷落の原東

若くして逝つた荒鷲の雛
高潔少年遂に骨埋る

【基隆電話】南國の土と化した十八日午後基隆に入港した高砂丸で同地に着いた故陸軍少尉荒鷲の雛は十九日の海軍戰病者葬に際し式に參列して四十名を代表して四十名を出席させてゐる、〇〇港住民の心情高潔振りの如く整々としてゐる

海南島出身華僑が緊急會議
香港の近況

【基隆電話】香港陷落後の香港の模様は次の如くである

日本軍の華僑へ與へる事を極力禁止してゐる有樣である

國民登錄制宣傳のポスター
總督府で募集

國民登錄制は內地に於ては既に昨年二十日より實施され本島に於ては來る六月一日より實施されるが、政府の指導した技能を有する者は一人殘らずその職業能力を登錄官廳に申告するを要するものを一般に周知せしむるため總督府ではポスター圖案を左の要領により募集する旨發表した

圖案內容　國民登錄の效力を明示したもの

圖案用紙　紙質適當なるもの

圖案の寸法　日本標準規格B列二番（515×364m/m）

圖案送付先　臺北總督府殖產局商工課

締切期日　十四年三月二十日（當日消印有效のもの迄）

發表期日　十四年三月二十日とし當選者のみに通知

賞金　▲一等一枚金五十円▲二等一枚金二十円▲三等二枚に付金十円、但し二人で二枚以上當選した場合は一等賞金のみ交付す

注意　應募圖案は一切返却せざること、なお應募圖案の所有權は當局に歸するものとす

基隆第三岸壁
のブリッヂ
一輛が故障で不便

【基隆電話】第三岸壁の本船進出用フリッヂ二個の內一個は被檢を起しタンタン一つで乘降客に不便を

五埒公で教育勅語
奉安庫の落成式

【基隆電話】基隆郡三坑小學校では十八日午後一時より同校において、兒玉郡守、警察課長以下官民多數列席のもと教育勅語奉安庫の落成、拔銃、拔劍の創定式を擧行し、引き續き同校において被檢式を催した

チアノ外相の
肖像寫眞
有田外相へ

【東京十九日發本社特電】獨逸外相リッベントロップ氏は十九日午後五時三十分發の飛行艇で歸國の途に就いたが、同氏の出發に當り日獨伊三國協定の締結に盡力したチアノ伊外相の肖像寫眞を有田外相に贈つた

明るい名刹
精美堂

大發病院
內兒科
入院室完備　兒玉町三丁目　電話六六四八番

妻奶儀
本町二丁目
電話六六一七番

丸本染工場のデマ

けふの天氣

臺北地方　南西の和風　曇後小雨
北部地方　南西の和風　曇後小雨
△昨日の氣溫　最高一二度七（午前十時）　最低一二度七（午後四時）
（臺北測候所發表）

デ盃王國に危機
ペート主將苦衷を語る

【ニューヨーク廿四日發】デ盃來軍主將ウオルター・ペート氏は去る二日のデ盃ドロー發表に際し歐洲が戰雲のデ盃を保持する自信のそれに關しては何ら觸れるところなく

余暇を惜しむ休位向上の者

お相撲

寒かな小春日和の午後の一時
綺麗好きの防火砂が山と盛られた傍みへ十ばかりの給仕
戰がお昼先にと飛出して來た、
何れもお母さんが心を籠めてギユー〳〵押詰めたお弁當をペロリと平げてしまつた面塚連であらう
〝オイ一丁こい〟〝ロシツ〟
忽ち右四ツ、小待ち太つた體を眞赤にして揉み合ひ中、又一組飛出した給仕連が
〝ソレ出羽ケ嶽だ〟〝イヤ常陸山だ〟
と大騒ぎ、
此の組合せは最後に相應しい大取組だ
〝ソレ〳〵〟と應援團の聲に
〝ヤツ〟と立上つた出羽ケ嶽
〝ヤツ〟と受けた常陸山
〝ハツケヨイ〟
〝ハツケヨイ〟
〝ハツケヨイ〟
三度目の〝ハツケヨイ〟